

実践的自治体行政学の確立をめざす

——行政学の俊英による最新刊！



# 実践自治体行政学

——自治基本条例・総合計画・行政改革・行政評価

## 本書の内容

「自治体行政学」とは、国の行政と自治体の行政とを区別して捉え、自治体固有の行政課題について解決手法を探る学問である。本書は、現在の自治体行政が抱える様々な課題を取り上げ、とりわけ住民との関係にスポットを当てて分析。次代を担う自治体職員にとって必読の一冊！

金井利之 著

A5判・336頁 定価 本体2,200円+税



## 本書の特色



『変化に挑戦する自治体——希望の自治体行政学』（大森彌 著）に続いて第一法規がお届けする、自治体行政学の単行本第2弾！



本書では、自治体行政組織に対する統制と管理をテーマに、「自治基本条例」「総合計画」「行政改革」「行政評価」という具体的なトピックスを取り上げ、それぞれの理念、課題、対応策を解説。



著者がみずから審議会委員等に関わった具体的な事例の研究を多数登載。



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560  
<http://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-696  
Fax. 0120-202-974

## 「あとがき」より

——《民主主義的体制のなかの非民主主義的な主体》である行政職員・行政組織に対して、《民主主義的体制のなかの民主主義的な主体》であるはずの住民が、いかに民主的統制を達成できるか、という極めて保守的かつ伝統的な視点は、自治実践の現場では、特に、活動的で「良心」的な行政職員や住民活動者の間では、急速に弱まっているようである。その意味で、本書の視点は一定の価値があると信じている。

## 著者紹介

### 金井 利之 (かない・としゆき)

#### 【略歴】

1967年 群馬県生まれ  
1989年 東京大学法学部卒業  
1989年 東京大学法学部助手  
1992年 東京都立大学法学部助教授  
2002年 東京大学大学院法学政治学研究科助教授  
2006年 同教授、現在に至る

#### 【主要編著書】

『赤池町の財政再建と財政課長・安武憲明——自治に人あり②』共著、公人社、2009年  
『倉敷の町並み保存と助役・室山貴義——自治に人あり①』共著、公人社、2008年  
『分権改革の動態』共編著、東京大学出版会、2008年  
『ホーンブック 地方自治』共著、北樹出版、2007年  
『自治制度』東京大学出版会、2007年  
『財政調整の一般理論』東京大学出版会、1999年

## 目次

まえがき

### 序章 自治体行政学とは何か

- 1 自治体行政学の領域
- 2 自治体行政学の体系

### 第一章 自治基本条例

- 1 はじめに
- 2 《実質的意味での自治基本条例》
- 3 事例研究 ～川崎市における《実質的意味での自治基本条例》～
- 4 おわりに

### 第二章 総合計画

- 1 はじめに
- 2 総合計画の課題と対応
- 3 事例研究 ～豊島区における総合計画の変容～
- 4 おわりに

### 第三章 行政改革

- 1 はじめに
- 2 行政改革の課題と対応
- 3 事例研究（1）～横須賀市～
- 4 事例研究（2）～八王子市～
- 5 おわりに

### 第四章 行政評価

- 1 はじめに
- 2 行政評価の課題と対応
- 3 事例研究（1）～立川市～
- 4 事例研究（2）～世田谷区～
- 5 おわりに

### 終章 自治体行政学の展望

- 1 《民主主義体制のなかの非民主主義的な主体》
- 2 住民の作用
- 3 自治体行政学の実践領域
- 4 おわりに

あとがき  
事項索引

お試し読み、お申込はコチラ

<クレジットカードでもお支払いいただけます>



第一法規

検索

